広報 いずみざき

村づくり五原則

一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう。
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

昭和61年１月１日発行　（第２２２号）　編 集・泉崎村役場総務課　印 刷・野木印刷所

昭和61年 1月号

（泉崎中学校剣道部）

〈村のうごき〉

	人　口	人　口	合　計	世帯数
（当月）	男 2,896人（＋４）	女 2,950人（－１）	5,846人（＋３）	1,233戸（＋１）
（前月）	男 2,892人	女 2,951人	5,843人	1,232戸

村長の年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり村民の皆様の限りなき幸せがお一人おひとりのものになりますことを心からお祈り申し上げます。

はじめに

新しい年を迎えるたびに一年をふり返って思うことは、今年は年を重ねたに値する村づくりの飛躍があったのだろうか、村民の皆様に対し協力いただいただけの実績報告ができるだろうか。また、それぞれの地域の皆さんの自分たちの住む集落の環境や施設や条件がどれだけ改善され住み良さが増しただろうかと反省し総括をするのであります。新しい年への計画と関連をとりながらより効果のある村づくりを進めもって村民の福祉を高めたいと考えるからであります。

泉崎村は村の飛躍を願って壮大な転換を図りつつあるところであります。

大型の企業誘致、ニュータウン、運動公園事業、さらには新農業構造改善事業、農村総合整備事業、農村集落排水事業、特別養護老人ホーム、太田川高原レック事業等と公的及び民間と実施主体の違いはあれ全体として大転換を果しつつありますことは、全村民の皆様にご承知を願っているところであります。これはみんな未来とのかかわりを考えての実践であります。すでに効果は現れはじめています。

昭和五〇年に五、三五八人であった泉崎村の人口は、昭和六〇年国勢調査では、五、八三四人と五〇〇人の人口の伸びを示し、五十五年比較では二五七人増、四・六％の伸びを示して福島県人口増の十傑に入っております。

いま行っている企業誘致やニュータウンなど効果軌道に乗るのも目捷であり、これらの成果は新しい世紀を迎える頃までには、間違いなく目標に迫られると確心するものであります。

今年一九八六年、昭和六十一年ということで二十一世紀へまた一年近づいた訳であります。

二十一世紀視野を

年頭にあたって二十一世紀の泉崎ビジョンを結んで見たい。

十四年後にせまる二十一世紀の未来像を郷土の進む方向として輪郭を整えることは、計画的に秩序ある発展を考える以上どうしても必要であります。

福祉をめざす二十一世紀への推移を考えるとき、避けて通れない高齢化対策、福祉の向上、潤いと安らぎのある地域づくり、雇用の安定をはかる方向を先ずあげなければならない。

第一に

急速に進む高齢化社会は欧米の六倍ものスピードで進んでいる日本の社会は、近く老人で溢れるときがやってくる。しかしみぎたない老人ではなく、活力ある老人と生産にはげめる老人、そして健かに豊かに老えることのできる老人へと、その対策と福祉実施がどうしても必要であります。

第二に

このために何が必要かの立場から、豊かな経済を築く企業の誘致と医療の充実、若者による地域づくり、公園と生活環境、教育と文化の施設をすすめさらに所得の保障と住むことに心地よさと、魅力の形成がはかられて、かつ美しい環境の創造が果される郷土が実現する。

第三に

そうして自然と歴史的資源を生かした個性ある泉崎が、つまり村全体が一つの「**自然と歴史の公園**」となっていくことであります。

いま行なわれている各種の計画が進められていくとき、すなわちすでに村民の皆さんにお示してある、七色の虹がかかったとき、そのときこそ「**スポーツと活力ある農村都市泉崎**」が生れます。そして、八千人の住民が生活する緑のまち泉崎が「**日本一**」の村として、登場できるときであります。

時代はめまぐるしく動いていく。産業の構造も変わる。ハイテク工業のバイテク農業セラミック、光ファイバーの新素材の時代、電磁流体発電、超電導の省エネ産業、情報産業へと想像を超える変化が迫ると思う。

関東圏に接する泉崎は、ここに経済効果を生かせる地位にあり、福島空港開港後の波及効果も先取りを忘れてはならないと考えます。

情報化社会は一足早く、もう到来しておりいち早い対応の一番乗りを忘れてはならないと思います。

かくして泉崎は空間距離から時間距離時代の到来に先手を制する必要があると思うのであります。

二十一世紀のビジョンは、皆んなの力を合わせてアプローチすることによって達成される必要があります。

いま、コンベンションスペース構想（企業研修の場、会議場等）がさかんに唱えられております。

太田川の奥地にすすめられている、高原レックと連動して新しい一角を予定する、総合レジャーと関連して進めていけば、構想はすばらしいものになります。また運動公園の広がりを利用するスポーツランドの発想も、二十一世紀は必らず地域発展を起爆するものと信じます。

私はこうして「**安全と発展**」の〝まち〟発想・二十一世紀対応の未来志向の〝まち〟発想によってこそ、新しい世紀への泉崎が描けるものと信じます。

世界に向ける視野を

戦後日本が荒廃の中から立ち上がり世界の先端を行く産業国、日本をつくったことはお互いの大きな歓びとしたいと思います。

このため想像に絶する国民的苦労でありましたが、今日の我々の生活は世界のトップ集団の中に位置づけて、みじんも遜色を感じないところまでなし遂げたわけであります。

今後は如何にこの生活を維持し発展させて行くかは、国民の英知と努力とによってこそ、なし得るものであろうと考えるところであります。

しかし、この日本の繁栄のかげには、世界の多くの国々に経済的打撃を与えていることも事実であります。自由競争の現況の上になり立つ自由主義経済の理念からすれば、こうした努力の上になった繁栄は、もって当然のことなのかも知れません。しかし、広く世界に目を転じますと特定の国の繁栄が他の国家の繁栄を脅かすことになってはならないと思います。自国の繁栄をはかりながら他国との調和ある姿勢を保ちつつ、世界経済の発展をはかっていかなければならないと思います。

このことこそが日本の今後の発展を築いていく基本だと考えます。そしてここにこそ日本の諸地域、つまり私たちの郷土の繁栄が約束されるものではないかと思うのであります。

私が外人教師を呼び、我々の子弟たちに、広く世界への理解と飛躍への一つの転機としての役割を果したいと願ったのもここのためであります。

いま年頭にあたり、二十一世紀を臨む日本が世界四十五億を超える人々と手をとり合った繁栄をめざすことは、泉崎村の二十一世紀をめざす繁栄をねがう心と同じでなければならないと思うし、全村民が手をとり合って、共に幸せを築いていこうとする決意につながるものであると強く、信ずるものであります。

六十一年の展望

年頭にあたり六十一年の新しい村づくりについて触れ、若干の表明を試みたいと思います。

泉崎村の歴史にとって今年は、村の人材育成の拠点の一つ、中学校の建設問題が具体化に一歩を進めることになるわけであります。しばらく村民の間に、論議が交わされておりましたが建設予定地として、大字泉崎字白石山・上陣場地内泉崎横穴西隣に焦点がしぼられ、議会に於ても請願等をめぐる特別委員会、さらに全員協議会等論議を重ねられたところでありますが、私はこの問題に早期決着を感じ、用地買収等の具体的取り組みを進めることにした次第であります。

我々の子弟が**安心して学習できる学校**を、**快適な活動ができる学校**を十分**な広がりを持つ学校**を、また**緑につつまれた学校**を、そして**静かな環境に恵まれた学校**を思うとき、拠点たる要素を、解析検討して到達した場所であります。

距離的平等性という観点を無視することはできないが、用地の取得可能性（地価）、優良農地群、交通条件、土壌風砂塵、騒音といった条件をも考慮に入りますと、克服しなければならない幾多の問題があります。

これからの中学校にはとくに、生徒が伸びのびと育つことのできる場所的広がりをもつことが大きな条件として望まれます。

現中学校の面的規模からは、どのような部活動、クラブ活動も校庭一ぱいにくり広げることはできません。

山の北側に位置し、地下水が高く地面の乾燥が悪い、グランドコンディションに困る、隣地は優良農地群、鉄道線路への接着ゾーン、また南は山肌が迫っておりその上、切込み拡張が許されない県指定の「自然環境保全林」といった「現在地維持」に対するネガ的要素が極めて多く、新しい用地への移転は避けられない大きな理由でもあります。

中学校の建設はさきの要件を満たし村の中央にあることが最も理想でありますが、泉崎村が現在かかえもつ面的な広がりの中で五ヘクタールの規模を許す緑の周辺と、静けさを確保できる場所はここ以外にありません。広範に亘っての立地条件の分析からして、最大公約的状況を許し得る所は、このようにして出されたものであります。

また必要条件ではないが、接着地域に社会教育的施設としての運動公園（カントリーパーク・さつき公園）がありますことは、開設後の学校経営に絶好の条件がプラスされることも、県下の他校に見られない有利性が与えられることになります。

今後は比較的遠距離にある地域との接続を道路条件の優先的整備を進めることによって、距離と時間を短縮することに努めなければならないことは、

当然であります。

皆さんの理解と協力によって健全な青少年の殿堂として、彼等が**思いっきりかけまわり、青春を鍛える母校が緑豊かなこの地**に、そして社会人として心も学力も共に好ましい人間性を養うための「泉崎の教育」が、この土地に発することを心から希望して止まないとともに全村民の絶大なるご協力をお願いする次第であります。

農政

昨年の好天は一昨年に続き作物育成期の晴天高温に恵まれたことで、畑作にあっては一部干害を蒙った作物もありましたが全体的には豊作形であり、農家の皆さんの適切な肥培管理のご努力があって全体として、豊作であったことは皆さんと共に喜びたいところであります。

とくに村全域に亘り実施した航空防除は、前年に比し三回の消毒実施に踏み切り、大きな成果をあげることができました。これは県下他町村にさきがけての三回実施であり、出荷米等級も八十五％が一等級の検査米を出すことができました。

この場をかりて全村ぐるみのご協力に対し厚くお礼を申し上げる次第であります。

新農業構造改善事業仕上げの段階に至り、各種の事業を進めてきたところでありますが、五十九年には川崎地区ライスセンターは、第一年となり秋の収穫に間に合うことができ、六十年には利用第二年目となり、その普及に力を入れたところでありますが、一昨年天候形の胴割れ米の影響があり、普及効果が今一つというところでありましたが、指導に当られた関係者のご努力を得まして、八十ヘクタール規模までの利用拡大がはかられたことは、喜びに耐えないところであり、関係の各位に対し改めて感謝と敬意を表したいと考えるところであります。

県下に一町村で大型のライスセンター二基をもつ町村は、泉崎村だけであり農業合理化と生産性の高揚に、大きく貢献し得ることはもって本村の誇りとするばかりでなく、県下各農協にさきがけて、トン袋出荷が実施できたことは、今後本村農業の生産性のアップに、大きな方向を与えることになった次第であります。

農業高生産性センターの設置以来、高い生産性をあげるための指導を進めてきたところでありますが、特にグリーンアスパラガスの作付が特産物づくりの観点から、作付協力をねがっているところでありますが、五ヘクタールの作付にこぎつけ、長足の成果をおさめ特産づくりに、一歩を示し得たことは大きな喜びとするところであります。

鳩麦の生産は水田再編対策の一端として進め、また一村一品運動として、加工商品へと照準を合わせ「村おこし」の目玉にいたすべく進めてきたところでありますが、十四ヘクタールの作付を達し「粒状鳩麦」、「パックスタイル鳩麦」が県のはと麦として、すでに販売のルートに乗り注目を集めているところであります。

六十一年には鑵入りジュース型の生産にこぎつけ付加価値の高い商品として、飛躍を期待しているところであります。

六十一年の水田再編対策も一五九ヘクタールと若干の伸びを見ていますので、転作種目としてご協力を得たいと存じます。

農村の情報連絡の迅速化と徹底を期して農村生活と農業経営の向上を願って、農村情報連絡施設の完成を急いでいるところでありますが、六十年度にはこの請け渡しもすでに済み事業に着手し、六十一年に完成することになっております。

無線によるこの施設は、村内一斉放送、部落内一斉放送、また全世帯に屋内受信装置を設置することにより、屋外、屋内の情報連絡がより迅速緊密になることが実現されることになります。

村内環境の建設

泉崎村がとり組んでいる各種道路整備事業、環境整備企業誘致等に関し、若干の表明をいたし、村民の皆様に対する新しい指標にしたいと存じます。

村が前進し快適な生活を営むためには、道路水路の整備を進め交通の円滑化と水路、上水、下水の完備が必要になってまいりますが、昭和六十年は四号線から泉崎大橋に至る県道バイパス路線敷地の売収を、ほぼ八割方終了し一部事業着手にこぎつけたいと考えるところであります。

踏瀬から長峰を通り、産業道路に至る県営農免道についても引き続き実施を進める予定でありますが、その進渉については県へ働きかけ出来高増進に努めたいと考えます。

村道については、高屋原踏瀬町中線の補装工、瀬知房松倉線よりニュータウン側の改良工の実施を、六十一年度には、更に延長改良工、熊の森滝原線の改良工完成にこぎつけたいと考えております。

農村総合整備事業については、六十年に続き農道整備四路線、集落道二路線の整備を進めたいと考えております。

集落排水につきましては、今年は約三千米を実施、宿館集落の一部供用開始に入ります。

農村に文化の息吹きをあげ、文学通り生活の文化の第一年にしたい所存であります。

新しい福祉をめざして

明るい社会をつくるためには行政も個人も地域もそれぞれの分担を認識しそこに住む人たち皆んなで社会づくりに、参加することが必要であることは言をまたないところであります。

老齢化社会を予期しなければならない、わが国社会の中にあって泉崎も例外ではありません。

寝たきり老人、痴呆老人の問題は村にとっても切実な問題として受けとめなければなりません。

老人はなぜ守らなければならないか、ただ機械的に保護するのではないはずであります。

自分の親を見るのは当然であるが、社会がまた行政がなぜ面倒を見なければならないのか。この素朴な疑問に答えることが福祉のはじまりであり、終点であります。この考えは障害者（児）精神薄弱者をはじめすべての要保護者にあてはまることであると思います。

新しい福祉の方向として、在宅福祉が叫ばれて久しいが、同居の両親が健康であればともかく、病気や痴呆など介護を要する場合、何等の福祉的援助がなされなければ共倒れの心配もある。

これは「寝たきり」老人「痴呆」老人をかかえる家庭の深刻な問題であります。

収容するサービスが無限でない現状にあって、今後の老齢化の加速を考えると、在宅福祉、地域福祉の向上の方向が強く望まれるところであります。

今後は地域の人々の善意とボランティアを含めて、**在宅福祉のサービス向上**に努めたい所存であります。

病気や体力の衰えによって介護を要する老齢化社会の広がりを思うと、ホームヘルプ事業はますます役割の大きいことを感じます。

一層力を入れて参りたいと考えるところであります。

また、在宅福祉に平行して社会的福祉施設として、ねたきり老人、痴呆老人の皆さんを収容する施設について、準備を進めて参ったところでありますが、さきに設立された福祉法人ライフケアー会のとり組みのもとで進められてきました。特別養護老人ホーム、今年は完成操業の運びになるはずであります。

かくして地域の福祉サービスが住民ケアー活動を一方に、また施設ケアーの活動を一方に兼ね合わせ、相互に連けいする活動を通して介護援助を与えることこそ、福祉の目的そのものであり、かくして地域と対象者との連帯の上に立つ福祉が、実現することがこれからの福祉コミュニティの姿であると信じます。医療福祉の充実と保健業務の活動を通しながら、これらの新しい福祉に近づく努力を惜しまないつもりであります。

大きな産業社会に到達した、日本は巨大な管理機構と合理化された生産社会をつくり出した。生産と合理化の陰に人の心と人が育つ社会のしくみが後退する傾向を、顕著に生み出した。

親が子の生長に関心を持たない者はないが、子は親が願わないそして親の知らない方向に育っている、現実を強く認識しなければなりません。

また子は子のグループに安住し、親の知らない行動に走る。「いじめ」の問題がこれです。子は悩んでいる。まじめてやさしい性格の者が直撃をうけている。「いじめ」が大きく社会問題化している中で大人たちはいまこそ子どもをみつめ、大人の反省を含めて子どもたちによい精神環境をつくるための、真剣な姿勢が求められるところであります。

「いじめ」は子どもの精神に深く「浸食」していることは、子供の自殺が相次いでいることからも、放置できない状態にきています。

小中学生の登校拒否、神経症や心身症のうち四十％が「いじめ」が誘因となっている報告がなされているのも事実です。

親や先生の知らない場所や時間でしか「いじめ」は起らない。

学校も親も社会もこれでよいのか猛省を試みる必要があり壮大な論議を展開し、集めた意見を地域全体が実践するのでなければ対策にならないと思う。

これからの社会を担う子供たちに強くなってもらいたい希望は皆同じであり、また精いっぱい重荷の中で生きてきた老人たちから、財を刹ぐ大人たちのいじめの現象が、つまり社会のいじめの構造が現れやすい子供社会（学校）に集中する。

教師は子供と社会のはざまで、悩んでいます。わが学校に「いじめ」のないことを願いたい。また村も学校も家庭も一つになった「いじめ」への対策をしんけんに考えていくつもりであります。

子供が明るく奔放に学び遊ぶことのできる社会こそ、よい社会の見本である。

青少年の伸びのびとした成長ができる泉崎村であり、六十一年であって欲しいと念願して、私の年頭の所信の表明にかえたいと思います。

村民の皆様のご多幸をお祈りいたします。

元　旦

ごあいさつ

泉崎村議会議長
熊田直輝

輝かしき一九八六年の新春を迎えるにあたりまして栄えゆく将来を寿ぎ、あわせて村政の伸展をお祝いできますことは、私の最も喜びとするところであります。

ここに村議会を代表して皆様につつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は議会の円満な運営と村政伸展を第一主義として、誠心誠意努力してまいりました結果、お陰様で泉崎村議会も大過なく越年することができました。これひとえに村民各位の御厚情と御協力のたまものと、深く感謝の意を表するものであります。

私は議長就任以来、村民各位の御指導を唯一の力として、活力のある住みよい泉崎村の建設のため懸命の努力を傾注してまいりましたが、議会の運営にあたっては、私ども議決機関としては、今後さらに創意工夫を重ね、皆様方の御期待に添うよう決意を新たにしております。

私達議会議員は、国、県の施策に即応しつつ、我が泉崎村の立場から、地域間の所得格差を是正し、行政水準の不均衡を正し、御期待に即応することが、我々議員に課せられた責務と痛感するものであります。

二十一世紀への旅立ちする泉崎村の躍進は目ざましいものがあり、さつき公園の建設、各企業の誘致、ニュータウンの造成等、幾多の曲折を乗り越えて、これらの建設の足音が高らかに鳴り響く泉崎村も、本年を以って合併三十二年目を迎えることができましたことは、村民各位の愛郷を想う心と、行政運営のよろしきを得た結果であります。

ほんとうに喜ばしい次第です。

どうか、二十一世紀の夜明けに向けて躍進する、一九八六年が皆様にとりまして最良の年でありますよう心からお祈り申し上げ、五千八百人の弥栄を寿ぎ、年頭のあいさつといたします。

昭和六十一年元旦

助　役
中野目辰善

明けましておめでとうございます。

村長と議会を先頭に進められている村の建設が新しい時代に結ぶ紅のかけ橋としてその姿ができるまで当分槌音が続くと思います。

皆様のご協力の上にすばらしい理想のランド泉崎ができると信じます。

未来の子孫への尊い仕事であり義務だと思います。

昭和六十一年は昨年に続いて運動公園の建設促進、第一工業団地など企業誘致促進、太田川のレジャースペースの建設、老人ケアー施設の建設が予定されます。

これらの建設を確かなものにするために命ぜられた任務が発揮できる新しい一年でありますことを心から祈念し、お誓いし、がんばりたいと考えます。

収入役
佐々木一恵

新しい年を迎え、つつしんで村民の皆様がたの御健勝をお喜び申し上げます。

昨年は国内外或は県内にも幾多の事故事件等の多発の年でありましたが、吾が村におかれましては村長を中心に日本一の村づくりに取りくみ議会の皆様方の協力はもとより村民の皆様方の理解と協力を得まして、立派な成果が上りつつあることはよろこびに耐えません。しかしながら、自主財源が乏しく補助金、交付金等中央依存度の高い地方自治体には大変きびしい年にもなりそうです。無理無駄のない財政運営にきびしく対応し、少ない予算でも最大の効果が上りますよう村長の補助機関として皆様方の期待に応える様今年も頑張ります。皆様方の御多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。

病院長
成澤俊雄

今私達が住んでいる社会は21世紀に向けはげしく移り変わっております。なかでも人口の高令化、科学技術の進歩、高度の情報化などは、私達の生活にも大きな影響を与えております。医療の場にも今迄にないさまざまな影響があります。特に最近の分子遺伝学を中心とした、生命科学の発展は、生命現象の基本的仕組の解明とともに、私達に根本的に生命観、世界観を問いかけております。

しかしながら健康で豊かな生活を希うのは人類共通の理念です。今年も私達病院職員一同はこの理念のもと、皆様方の健康維持と監理に最大の努力を傾ける所存です。

本年も村民の皆様が健康で明るく過ごされる良い年となりますことを祈念して挨拶といたします。

教育委員長
箭内正次

新年おめでとうございます。昨年は教育に関する話題が非常に多く、臨教審の提言なども含めて、いろいろと考えさせられる事がたくさんありました。ただ、私達にとって大切な事は、現在の教育にかかる欠陥をどう改めるか、といった消極的な面だけにとらわれず二十一世紀の世界にたくましく生きるにはどうしたら良いか、という積極的な面を充分考えておかなければならないと思うわけです。学校教育、家庭教育、そして地域社会の教育の連携がさけばれて久しくなりますが、今後いっそう押し進められ、青少年の健全育成が図られることを強く願うと共に、新年にあたり皆様の御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつと致します。

教育長
木野内重三郎

年が改まるということは、悔やまれる過去を遠いものとし、新たな発意を奮起することで意義が深まるものと思います。

昭和六十年という年もビックニュースを列挙するに事欠かない、多事多難な年でありました。教育の領域に属することも多くあったと思います。いじめを頂点とする小中学生の問題行動と心の乱れ、学力低下、偏差値偏重の教育そして教育改革等現状を肯定することの少ないのに気が付くのであります。しかし多くの若者や子供達は、逞しく競い合って成長しているのであります。私はこうした若者や子供達の姿に接する度に頼しさを感じると同時に、その職にあるものとして、為すべきことを成したのだろうかと、自戒を禁じ得ないのであります。今年も愚直に教育の術を摸索する意を決しております。村民各位の御支援をお願いいたします。

特に今年は、中学校の移転改築の始動する年でもあります。将来の中学校教育の場にふさわしいものを目ざし真剣に取り組む決意であります。

泉崎一小校長
河越良平

何んとなく　今年も
よいこと　あるごとく

元日の朝　晴れて風なし

新年、おめでとうございます。

三本の矢の教訓で知られる毛利元就は、元旦に東方を拝し、寒気凜冽の中に端座して、沈思黙考、一刻に及んだといわれます。

これこそ、最も良く元日を祝う心ではないでしょうか。

元就に倣って、年頭に想うとき、念ずるのは、やはり「心の教育」の確立です。

日本の歴史を大きく二分すると、第一次石油ショック以前と以後に分けられると言われています。モデルのあった時代とない時代とに分けられるわけです。

教育も同じで、模倣や経験が活かせない状況になっています。

現在の教育問題を解決する根本方策は「心の教育」の確立です。これを、どう展開するかを沈思黙考しなければならぬと思います。

フィーリングの時代は去ったようです。

白小崎二小校長
松井幸三郎

「何となく、今年はよい事あるごとし」と、石川啄木がうたったように、新しい年に明るい希望を求める思いは、誰もが抱くことであろう。ただ、教育のことを考えると、あまりにも深刻な問題が多すぎて、どうも不安が先にたってしまいそうである。その不安を希望にかえる努力を積み重ねていくことが、今年の私たちの課題であると考える。

一人ひとりの子供をよく見つめ、子供の中にひそんでいる長所や個性を引き出しながら、学年相応の学力を身につけた、思いやりのある、たくましい子供に磨きあげていく努力をしていきたい。それには、子供の中にとびこみ、子供といっしょに遊ぶことを苦にしない教師でなければと思う。

泉崎中学校長
藤田大八郎

日ごろ本校に対しまして絶大なご支援をお寄せいただき、誠に有難く存じております。

昨年は、例年にない程、「文化的活動」の面での躍進がみられ、私の提唱していた持論が実現されつつあることに喜びを感じております。この活動はスポーツに比しとても地味ですが、自国の文化を正しく認識し世界の国々と協調し合い、他国の人々から尊敬と信頼を得る国民的資質の向上をめざすためには、とても重要なことと信じています。

今年も生徒の持っている可能性を多様な面から引き出していく所存です。

今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

泉崎村消防団長
鈴木　寛

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

昭和六十年は消防庁長官竿頭授受賞、福島県知事表彰旗受賞と泉崎村消防団には、輝しい一年でありました。これも偏に村民の皆様の防災意識の高揚の賜物と厚く御礼申しあげます。

私はこの新たな年にあたり、過去の受賞に恥じぬよう消防団員一丸となって、郷土愛護の精神を喚起し、水火災等の災害から村民の生命・財産を守るため、更に努力をする覚悟でありますので、村民の皆様のなお一層のご協力をお願いするものであります。

終りに村民の皆様のご健康とご多幸を祈念申しあげ新年のごあいさつといたします。

泉崎村婦人団体連絡協議会
会長　**本柳タイ**

新春を迎え、心からお祝い申し上げます。

婦人の地位向上が叫ばれております今、私たちの婦人団体連絡協議会も皆様のお蔭で一歩、一歩ふれ合いの輪を広げ充実した活動を進めて参りました。

新しい年を迎え、常に変りつつある社会の動きに大きく目を向けると共に、婦人に課せられている「青少年育成」と「明るい家庭づくり」のために力を入れなければならないと思います。これからも地域婦人団体のもつ役割を検討しながら婦人の教養を高め、健康で心豊かな住みよい村づくりのために、みんなで手を取り合って進んで行きたいと思いますので今年も何卒よろしくお願い致します。

川崎交通安全母の会
会長　**菊地美津子**

明けましておめでとうございます。村民の皆様方には輝しい新年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。又交通安全母の会の皆さんには、日頃交通事故防止のために御尽力下され誠にありがとうございます。昨年は、会活動の一つに、会員の手作りで心をこめた安全マスコットのプレゼントや県南地方交通安全母親大会が本村で勢大に開催される等意義深い一年でした今年も交通安全は家庭からを合い言葉に母の会一丸となり事故防止のために頑張りたいと思いますので村民の皆様方の御支援御協力を切にお願いいたします。最後に母の会のますますの御活躍と、事故のない明るい村であります様祈念して新年の御挨拶といたします。

関平交通安全母の会
会長　**美沢美枝子**

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新春をお迎えの事と存じ、心からお喜び申し上げます。

顧みますと昨年は全国的に交通事故が増加し、特に交通事故に依る死者が著しく増加するなど多難な年でありました。

今や「車」無くして生活し得ぬ今日此頃、本年も一層死亡事故、その他事故発生が減少する様、願ってやみません。

今年こそなお一層厳しい交通情勢の中、交通安全の重要性を再認識し、決意を新たにし、母の会が一丸となり地域住民の皆様の深いご理解と暖かいご協力を賜わり、交通事故撲滅に微力ながら懸命に努力して参りたいと存じます。

泉崎村自治青年会
会長　**吉田佳儀**

輝かしい新春を迎え、皆々様方のご健勝を心からお祝い申し上げます。

昨年は、西白河郡青年球技大会に於て総合優勝を獲得又、福島県青年文化祭典合唱の部で優秀賞に輝き、スポーツ、文化活動にと充実且つ有意義な一年でありました。この栄誉ある賞をいただけたのもこれ一重に村民皆様方のご指導、ご協力の賜と感謝しております。

本年はボランティア活動に力を入れ、少しでも地域住民のためにお役に立てればと考えております。

又、スポーツ、文化活動におきましても全国大会をめざして意欲を燃やしているところでありますので、今後共皆様方の暖いご支援ご協力をお願いいたしまして、年頭のごあいさつといたします。

総務課長
田崎文能

新年あけましておめでとうございます。昨年中は本村行政に対して皆様方の御理解ある御協力をいただき誠にありがとうございました。御陰様をもちまして本村も大きく発展するインパクトを得た年であったかと思います。我々職員一同は日夜我が村の発展を期することを願って職務に専念いたしておるところでありますが、地域全体からしてみますとまだ〳〵地域住民へのサービス面が行き届いているとは思ってはおりません。しかしながら我々職員一人〳〵が自覚と信念をもって皆様方の御役にたちたいと努力をいたしております。どうぞ御用命下さい。今年は「寅」年であり「寅」は大変剛情で我慢が強く慈悲もあると聴いておりますが今年は国の臨調絡みで本村も昨年十一月行政改革推進委員会より行改革についての答申がなされ、その大綱作成も余儀無くされ今年は泉崎村の行革第一年で、正に剛情我慢慈悲をもって進めなければならないと思っております。しかし現在の行政に対する住民のニーズが多種多様であり今後本村の財政の状況等をみながら遅れのとらない行政を進めなければならなく職員一同一生懸命頑張るつもりでおります。どうぞ皆様方何かと御不満の点もあろうかと存じますが何分よろしく御協力を御願い申上げ新年のあいさつといたします。

中央公民館長
円谷泰秋

村民の皆様、新年おめでとうございます。

昨年中は公民館の事業や行事に対しまして御指導と御協力を賜わりありがとうございました。

今年も公民館は村民の学習の場としての機能を果すべく種々の学級を開設し、皆様の参加をお待ちしております。種々の研究にも役立つよう沢山の図書を備えて御利用を待っています。

世の中が進めば進むほど学ばなければならぬことが増大して来ます。人は学ぶことによって進歩します。「学ぶに遅きことなし」といわれています。青年壮年実年、年齢に関わりなく学ぶことの楽しさを味わっていただきたいと思います。

泉崎幼稚園長
海上美津枝

新年おめでとうございます。

年頭にあたりまして、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

一昨年、七月、破格な園長の辞令を拝受し、日々模索の中で早くも二年目を迎えました。この間、皆様方の幼稚園教育に対する暖かいご理解とご助言に深く感謝申し上げます。

さて、青少年の非行、社会問題として大きくクローズアップされ、その根源が幼児期にあると云われている今、私達保育者は、「幼児教育の意義」と「あるべき姿」を今一度見直していかなくてはならないと思います。

有名な教育学者、エリクソンが幼児期に通るべき体験を「発達課題」と名づけその時期に応じた体験をしなければマイナスの課題として残ることを説きました。

とするならば、現在の非行青年の多くは正常な発達課題を終ることなくした当然の結果と云えるのかも知れません。

私達職員一同は、心機一転し、更に一丸となり、幼児それぞれの時期に応じた重要な発達内容を「いつ、どのように与えるか」をしっかりと押さえ、「非行に走らない基礎作り」に勇を鼓して取り組んで参りたいと思います。

保育所々長
佐々木郁子

新年あけましておめでとうございます。新春を迎えみなさまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。さて本村の保育所も、はやいもので今年で6年目をむかえようとしています。これもひとえに、みなさま方のご協力による賜と深く感謝申し上げます。

今年は今までの保育を土台にし、より一層の内容整備と充実をはかり、村民のみなさまのニーズに答えるべき保育所として、「素直で明るい子ども」「元気にあそぶ子ども」「あいさつのできる子ども」を保育目標に、子どもたちがのびのびと育つよう、職員一丸となり、更に努力を続けて参りたいと思います。みなさまの保育所に対する深いご理解ご協力をお願い申し上げ謹んで新年のごあいさつといたします。

生れです。

（泉一小 泉二小 五年生の皆さん）

うさぎ年生れもいます。

今年は寅年

『虎は千里を行って、千里を帰る』という諺があります。一般には〝勢いの盛んなこと〟の例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、その虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしょうか。

実は、虎は自分の子供のことが心配で戻るのだといいます。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にするのだそうです。『虎の子』と言う言葉もこのあたりから来たのでしょう。

虎はエトの動物たちのうち、日本に棲んでいない唯一の動物です。もっとも、辰(竜)もいませんが、これは想像上の動物ですからどこにもいません。

虎は中国をはじめ、東南アジアなどには広く分布していますから、エトのつくられた中国では、なじみのある動物だったのです。

もっとも、虎は日本で見ることができないにもかかわらず、その存在はかなり早くから知られていました。七世紀までに書かれた日本書紀にはすでにその名が出ていますし、天武天皇の朱鳥元年(六八六年)には虎の皮が大陸から渡来しています。そして、大陸文化とともに、虎に関する故事、諺がいろいろ伝えられ、いまも広く知られています。

たとえば、日ごろなんとなく使う『虎視たんたん(眈眈)』をはじめ、『虎の威をかる狐』、『虎の尾をふむ』、『虎口をのがれる』などいろいろあります。いずれも虎が強いもの、危険なものとして登場しています。

では虎の巻とはどういうことかと調べてみましたら、中国古来の兵法書、つまり、いくさの仕方を教える書物に由来する言葉のようでした。

ところで、最近は乱伐や焼畑農業によって熱帯雨林が減少し、森林に棲む虎の生存も脅かされています。本当に恐ろしいのは、虎よりも人間の所業だということでしょうか。

虎年を契機に自然保護の大切さをもう一度みんなで考えたいものですね。

ボク達寅年

小五の皆さん104人に聞きました。

1．泉崎村ってどんな村かな？

(1) 住みやすい　ハイ　75
　　イイエ　5
　　ワカラナイ　24

(2)どんなところが好き
　1位　緑が多い
　2位　空気が良い
　3位　自然が多い
（ユニークな答
●パーフェクトだからみんな好き
●スポーツ好きの人が多い）

(3)キライなところは
　1位　別にない
　2位　店が少くない
　3位　タイヒのニオイがする
（ユニークな答
●犬を毒で殺す
●バッキュームカーがくる）

(4)これからどんな村にしたい
（村長になったつもりでネ……）
　1位　いじめのない村
　2位　明るく住みよい村
　3位　事故が一つもない村
（ユニークな答
●歌手がくるような村
●デパートのある村）

2．今年(昭和61年)一番してみたいことは？
　1位　貯金
　2位　スポーツ
　3位　別にない
　4位　スキーをしたい
　5位　本をたくさん読みたい
（ユニークな答
●一日村長になりたい
●お金をいっぱい使いたい
●テレビにでたい）

3．将来どんな仕事をしたい？
　1位　保母
　2位　サラリーマン
　3位　別にない
　4位　看護婦
　5位　公務員
（ユニークな答
●タレント
●バッキュームカーの運転手
●なんでもいい）

4．今一番大事にしているものは？
　1位　お金
　2位　命
　3位　犬・ねこ(ペット)
　4位　小物(アクセサリー)
　5位　友情
（ユニークな答
●自分のたましい
●ソフトボールの道具
●にわとりとうさぎ）

5．誰れが一番好き？
　1位　友達
　2位　お母さん
　3位　家族
　4位　親
　5位　お父さん
（ユニークな答
●人間
●ターボくん
●犬）

平和への祈り

福島県読書感想文コンクール特選入選作文

「ひろしまのお父さん」

白小崎一小四年一組
大野めぐみ

戦争ってなんておそろしいんだろう。私は戦争中に生まれなくて、本当によかった。

ゴッゴー、
グワーン。

辺りは、真暗闇。かっ色のけむりが出たかと思うと、体は、十メートルもふきとばされ、気が付くと、ヒロシマがなかったというのです。たおれた家の残がい、ガラスのはへん、吹きあげるほのお、どの人の洋服もあとかたもなくやけてしまい、すごいやけどです。きずついた人の手当てすることもできず、歯はガタガタになり、口や耳から血のうみが流れ体中にうじがわき、死ぬ前には、はらの回りがむらさき色になり、口から青黒いものをドクドクはきました。

今、この様子を書きながらも、私の頭の中には、いろいろな場面がつぎつぎにうかんできて、気持ちが悪くなるなんていったらすまないと思いますが、せ中のあたりがさむくさえなってしまうのです。死体がいくつもいくつも流れていくさし絵のある場面などは、私の頭の中からはなれません。

いくら戦争でもひどすぎます。同じ人間なのに、なぜ、こんなすごい原子ばくだんを落とすのでしょう。だれが、こんな原子ばくだんをつくったのでしょう。原子力は人間の平和と発展をねがって利用されるためにつくられたと私はきいています。それなのに、それを、戦争のために、しかも、人間が人間をころすために使われるなんて。ゆるせません。どうして、ヒロシマの人たちだけが、こんな苦しみを受けなければならなかったのでしょうか。

この本の作者、高橋さんは、被ばく者です。ひどいやけどをうけ、三週間も失神状態が続き十か月ちかくも苦しみながら入院し、やっとお医者さんに、「死にはしない。」と言われて助かったのです。命は助かりましたが自分よりも大切な家族、多くの級友、そしてヒロシマをうしないました。その苦しみの中で、高橋さんは、被ばく者として、「戦争による大きな悲しみを、二度とくり返さないように。」と、「ヒロシマ、ナガサキの心」を、みんなに、戦争を知らない私たちに伝えようとしているのです。

私達は、今、幸せです。おいしい物を食べ、美しい物を着、毎日、毎日、楽しく運動や勉強が出来ます。でも、この平和はいつまで続くのでしょうか。いいえ、いつまでも続くように私達が努力しなければならないのです。

私は、家の人にも戦争の話をしてもらいました。この本をクラスの友達にもすすめました。お姉ちゃんにも読んでもらって二人でいろいろ話しました。戦争のこと、原ばくのこと、平和のことを。

戦争が二度とおこらないように、私達の力でがんばりたいです。

保育所 もちつき大会

去る十一月二十三日の勤労感謝の日に、第四回「もちつき大会」が、保育所の園庭において行なわれました。よい子たちの願いが、天に、通じたかのように、素晴らしい秋晴れに恵まれた中で力いっぱい行なわれました。

「もちつき大会」のねらいとしては、日本の伝統あるむかしながらのもちつきを、伝えると共に、もちつきを見た事のない子供達に、楽しさと喜びを体験させ手づくりの味をあじわせたい為である。お父さん達の力強い、もちつきを見学した後、実際に自分達の手で杵をもち力をこめて、もちをつく子供達の顔は真剣そのものでした。ついたもちを、手にとって丸めたり伸したり、貴重な体験をしました。その後「あんこ餅」「きなこ餅」「けんちん餅」「納豆餅」など好みの餅をお腹いっぱい食べ家族と一緒に楽しい一時を過ごしました。又この日、お供え餅を、村最高齢者の方を初め、役場、病院など、日頃お世話になっている方々へ子供達の感謝の気持を、こめて届けました。

泉一小 いずみっ子祭り

十二月七日、ゆとりの時間の活用で〝いずみっ子祭り〟が開催され、楽しい時間を過ごしました。各学級毎に趣向をこらした仮装行列から始まり、全員で「聖者が街にやってくる」を合奏したり谷唱したり、子供の国の大統領（サンタに紛した校長先生）から、お祝のメッセージをもらったりしました。学年毎の出店は紙人形やしおり、空飛ぶ円盤、割箸鉄砲など、これまた各学年の苦労と工夫の結晶で、楽しいものばかり。祭りにつきもののゲームセンターもオープンされ、金魚すくいならぬ金魚つり、ミニボーリング、小学生版ゲートボールなど、どこも大入り満員で、世話をしていた六年男子は、おでんを食べる暇もなかったほど。また、六年女子によるおでんの店も大盛況で、おでんをほおばる姿は幸せいっぱい、どの子の目もキラキラ輝いていました。「来年もまたやりたいね。」「おでんおいしかったよ。」と名残りを惜しみながら〝いずみっ子祭り〟を閉じました。

泉一小 ありがとう!!

去る十一月二十七日、泉崎ゴルフクラブ（会長成沢俊雄泉崎病院長）の皆様から、泉崎二小の教育に役立ててくださいと、五万円のご寄付をいただきました。学校では、このありがたいご芳志に、職員一同感謝し児童のために有意義な使い方をと考えております。どうもありがとうございました。

おめでとう

表彰される!!

昨年十二月五日福島市飯坂町で開催された福島県森林保全巡視員大会で田崎三夫さんが表彰されました。

田崎さんは長年にわたり泉崎村、矢吹町、白河市の森林区域の巡視活動を行なって来たことが認められ功労者として表彰されたものです。

○田崎三夫さん
（泉崎字四ツ屋前6の2）
福島県知事表彰

青年会活躍!!

去る十一月二十三、二十四の両日、県立白河高校において県連合青年会主催の「福島県青年文化祭典」が開催され県内各地から約三百五十人が参加し交流を深めるとともに活動の成果を競いあいました。泉崎村自治青年会は音楽の部門で優秀に選ばれ将棋部門では荒井孝祐君が第三位の好成績を得ました。

〈課題曲〉「若者たち」
〈自由曲〉「風がはこぶもの」

吉田　佳儀　鈴木　伸夫
中野目正明　菊地　信治
北沢　武夫　香野　正大
水野谷勝彦　穂積　一弘
菊地　幸　相笠　清子
萩川木綿子　薄井　春美
鈴木　聖子　大関　香
中畑　正美　熊井　徳男

第三十五回 県統計大会で表彰される!!

さる十一月二十六日午後十二時半より白河市民会館において福島県統計大会が開催されました。この大会は、長年統計業務に携り功績のあった調査員を表彰しまた講師の先生を招いて研修を行うもので、毎年県内各地で開催されています。

本村では、昨年十月の国勢調査をはじめ各種統計に功績のあった菊地行雄氏が県統計協会長表彰を受けました。

ごあいさつ

歯科医
中原東良

この都度事情により泉崎村を離れる事になりました。

当村に来て早いもので八年という歳月が過ぎました。

歯科治療を通し村民のみなさまには大変お世話になりました。

また年毎に学校生徒の治療率が高まり校医をしていて喜ばしい事と思っています。

私としても泉崎での八年間は思い出多いものとなりました。今後共泉崎での経験を生かし新地でも頑張りたいと思っています。

村民のみなさまの御健康と村の御繁栄を御期待申し上げます。

みごと銀賞!!

―国際理解のための全国作文コンテストで 鈴木君（泉崎中）―

国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト（日本国際連合協会・日本ユネスコ協会連盟主催）で泉崎中学校・鈴木正隆君（三年）がみごと銀賞に選ばれました。

同校は県教委の国際交流推進校に指定され着実にその成果をあげているなかでの今回の入賞は非常に高く評価されるべきものとし、喜びにわいています。なお、県予選通過作文は鈴木君を含め左の六名の諸君で、同校のレベルの高さを県内外に表明してくれました。

鈴木正隆（三年）本選銀賞
県予選通過者
佐藤貴幸（二年）、小針貴美子（三年）、兼子幸恵（三年）、清水あかね（三年）、阿部礼子（三年）

＊お元気ですか 保健婦です

カゼの予防

寒さの到来とともにふえるのがカゼ患者です。ふだん元気な人でも、カゼをひいたときの苦痛や不快感はいやなものです。今月は、カゼ予防について述べてみましょう。

1、偏食をするな

〝生命は食にあり〟栄養のバランスのとれた食生活を心がけて下さい。とくに冬は、からだを暖める動物性食品や、鼻やのどの粘膜を強くするビタミンＡを多く含んだ食品、血行をよくしてしもやけを防ぐビタミンＣ、Ｅを多く含んだ食品をとって下さい。レバー・柑橘類、さつまいも、ごまなどが良いでしょう。

2、十分に睡眠をとれ

睡眠は、一日の疲れを解消する最良の方法です。疲れがたまると、カゼのウイルスが侵入しやすくなります。生活のリズムを一定に保ち、体調を整えましょう。

3、からだをきたえよ

冬の寒さは、からだの血管を縮め、からだの各機能を低下させます。こういった弊害をとりのぞくためにも、冬こそが、体をきたえる絶好のシーズンです。朝のなわとび、ラジオ体操など、日常生活のなかに運動をとり入れ、寒さに負けないよう、からだをきたえましょう。

4、厚着をするな

寒いからといって厚着や重ね着をするのは、かえってカゼをひきやすくしたり、肩こりの原因になります。汗を吸いとる下着を身につけ、こまめにとり替えるようにしましょう。

5、うがいをしよう

外出から帰ったらうがいをして、のどについたウイルスやバイキンをとりのぞきましょう。

6、二時間に一回は換気をしよう

様々な室内温度調節器具が使われていますが、調節を誤ると健康に有害な場合もあります。少なくとも二時間に一回は窓をあけるなどして、空気の入れ替えをしましょう。

大腸検診のおすすめ

大腸ガンにかかる人が増加しております。大腸ガンも他のガンと同じく初期にはほとんど自覚症状がありませんが症状が出てからでは可成り進行しているとみなければなりません。しかし幸いにも初期のうちから便に血が混っていることが多く簡単な便の潜血検査を行うことにより早期に発見することができます。

検査希望者は左記により医療機関にお申し出下さい。

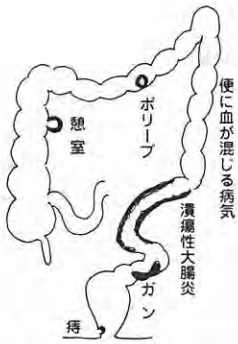
記

四十才以上の方。

一次・二次の検査は無料です。

三次の精密検査を受けることになった方は健保適用となります。

白河医師会
泉崎村立病院



親子で挑戦！ 野外生活の知恵 サバイバル入門

めまぐるしく変わる冬山の天気。〝完全防寒〟でスタミナ維持を！。しかし、ぬれた衣服や靴をそのまま着けていては、防寒の役目も果たせません。野外で温かく過ごす〝コツ〟を紹介しましょう。

●新聞紙がカイロになる

風速が一メートル増すごとに、体感温度は一℃下がるという。応急の保温には、新聞紙を下着の上から胴体や足に巻くといい。

●ビニール袋で水ぬれを防ぐ

雪道を布靴で歩くと、靴の中に水が入って非常に冷たい。そんなときにはソックスの上からビニール袋で足をつつむといい。

寒さを防ぐ

●あたたかく寝る

左図の●印が冷えているとなかなか眠れない。タオルなどを巻いたり、ソックスをはいたりして寝るといい。また、枯草を厚く下に敷くと快適だ。

●昔の人の知恵

つま先に、とうがらしを二、三本入れておくと、不思議に温かくなる。

●手袋の替えがないとき

ぬれた手袋をしていると、凍傷になりやすい。ソックスが手袋の代わりになることも覚えておこう。

国保の窓

心の健康を確保しよう

ゆとりを失った現代社会に生きて、ストレスに囲まれた毎日を送っている私たちは、絶えず緊張感や対人関係のひずみにさらされています。そのため心の健康が損われる場合が、さいきんとくに増えています。

★心の健康を保つ8カ条

1 失敗にくよくよしない

誤ちをおかしてもくよくよしないで、次の機会にうまくやることを考え、自分の失策を自らほほえみかけるゆとりを持ちましょう。

2 難事に正面からぶつかる

困難、悲しみ、不安などに対して、逃れることを考えないで、正面からぶつかる心がけが大切です。時がすべてを癒してくれることを忘れずに。

3 余暇を楽しむ

仕事いちずという働きバチでは心の余裕は持てません。休日はゆっくりレジャーを楽しみ、疲労の回復と気分転換をはかりましょう。

4 マイペースの生活を

他人の事を一々考えて、それに合わせていたのでは自分を見失ってしまいます。他人は他人、マイペースの生き方を考えましょう。

5 完全主義を棄てる

いくつかの小さな成功をおさめるより数少ない大きな成功を狙うことで自信をつけましょう。完全主義は棄てましょう。

6 話し合える相手を持つ

友人でも家族でも、なんでも打ち明けて心のわだかまりを話し合える相手を持ちましょう。

7 充分の睡眠をとる

睡眠は充分とり、毎日の疲労をときほぐしましょう。

8 趣味を持つ

音楽を聴くとか絵を描くとか、あるいは碁、将棋、スポーツなど、没頭できる趣味を持ちましょう。

ストレスに負けない生活

いらいら、不安などの刺激がおこると、私たちのからだはこれに対処しようとして、血圧が上るなどいろいろな反応を示します。ハンス・セリエという学者が見出したもので、この反応を起している状態をストレスといいます。現代人を襲うストレスは複雑で狭心症や高血圧、心不全などの心身症やノイローゼなどはストレスと深い関係があるといわれます。

休み、くつろぎ、気晴らしがすべての人に共通するストレス処理の原則です。

★ストレス解消法

スポーツ

ストレスによる障害はスポーツをすることによって軽減されます。適度のスポーツに熱中し、そのあと充分に休養することはきわめて効果的で、てっとり早いストレス解消法です。

レクリエイション

レクリエイションによる気晴らし、気分転換も効果があります。

話し合い

気のおけない友人や家族などに、心のわだかまりを洗いざらい打ち明けて、心をさっぱりすることもストレス解消の効果的方法です。

選管だより

泉崎村白バラ会 感謝状受与
―福島県明るい選挙推進協議会長より

白バラ会長と村長を中心に県推進協議会長賞受賞の喜びを……泉崎村白バラ会

白バラ会員の活躍が実る。

昨年は、国民参政九十五周年、普通選挙法六十周年婦人参政権が与えられて四十周年にあたる意義ある記念すべき年に、県下でも名声が高い、泉崎村白バラ会が晴れの明るい選挙推進協議会長賞の感謝状を受賞しました。

昨年十一月二十六日の記念式典の席上で四団体を代表して、泉崎村白バラ会長が受賞の栄に浴しました。

受賞の選考理由としては、普選運動、婦人参政運動、明るい選挙推進運動、等に挺身し、民主政治確立のために、当該地域の実情に対応した適切な選挙運動を推進し、あわせて投票率の向上等、特に他の模範としてその功績のあった団体という理由でした。

今後の会員の活躍が期待されるものであり、二十一世紀への選挙活動に花を添え、その成果を発揮し、協議会長賞の受賞にはじないよう、会員一同心に誓いながら、受賞の喜こびをかみしめあっていました。

ほんとうに、おめでとうございました。

（選挙管理委員会）

泉崎村白バラ会の受賞を表敬し長沼町白バラ会研修視察に来村

昨年優良団体として、県の選挙推進協議会長賞を受賞したこともあって、十二月五日長沼町白バラ会一行二十五名が、泉崎村白バラ会の選挙に対する啓発の活動状況等を視察研修に来村しました。

特に有意義な研修とするため、県の選管より特別助言者として、選挙関係の指導者渡辺主査に御出席いただきました。

泉崎村全般の概況を助役が説明した後、日常生活における選挙常時啓発のあり方等について渡辺主査の助言指導を仰ぎながら、有意義な話し合いが行なわれました。

その後、岩崎通信、ニュータウン、さつき公園等を視察し、岩崎通信の環境のよさと流れ作業のすばらしさ、又独身の女子社員の美貌さにも目をみはり息子に嫁をもらうときは岩崎通信からと、大変なごやかな視察となりました。又、岩崎通信の心温たまる御指導に心から感謝します。

泉崎村の躍進ぶりと、厚意ある歓迎ぶりに一礼しながら一行は帰省しました。

長沼町の白バラ会の今後の御活躍と、泉崎村白バラ会の御発展をお祈りいたします。

出席者は次の方々でした。

泉崎村白バラ会長、本柳タイ他十九名の役員

明るい推進協議会長、円谷泰秋

選管委員長　野崎兵一他　三名

泉崎村助役　中野目辰善

議会事務局長　鈴木俊貞

県選挙管理委員会渡辺主査

長沼町白バラ会

一行二十五名

（選挙管理委員会）

長沼町白バラ会との交流研修で村の概況を説明する泉崎村助役

＝ 明るい選挙常時啓発事業実施中 ＝

有権者は正義を愛す恋人よりも…だれよりも…有権者は21世紀の人を愛す。

責任ある投票で真実の人を選ぼう
真実は21世紀への道標、団結してきれいな未来を築いてくれる人に。

この輝く一票はボクだけのもの!!だれがなんといっても…俺の良心が許さない…21世紀の男

明るい選挙
私は死んでも……
21世紀までもきれいな主婦でいたいのよ……

短い幸せも、いつかきっと長い幸せが…おばあちゃんの信じる人に…

気をつけよう目の前の欲と甘い言葉
おっと危ない、21世紀を考えよう。

伸びゆく企業

1、事業所名
2、所在地
3、創立年月
4、代表者名
5、従業員数…男女別（　）内は村内在住者名
6、資本金
7、製品名
8、年商
9、貴社の特色、抱負、PR、村民の皆さんへ一言メッセージ、要請要望等

1、明星電気株式会社白河工場
2、大字泉崎字十八夜一番地
3、昭和四十四年十一月
4、代表取締役　半沢　久
5、五十九名
　男二十八名(22)
　女三十一名(13)
6、六千万円
7、電気絶縁材料の販売、電気絶縁部品の加工用金型の製作、コンデンサー用封口パッキンの加工、プリント基板チェッカーの製作
8、約三十五億円
9、当社は東京都世田ケ谷に本社を置き、昭和二十二年創立以来電気絶縁材料の総合商社として社会に奉仕して参りました。その間、昭和三十六年、合成樹脂積層棒積層管の生産を始め（現信明ライト工業）昭和四十四年、当白河工場を開設電気絶縁材料の加工部品の金型起工より一貫生産の設備を以って需要に応じ、昭和四十八年に郡山営業所を開設東北全域に絶縁材料の需要に応じ、昭和五十年にはコンデンサー用封口パッキンの生産（現明星工業）を開始広くニーズに対応する一方、昭和四十三年より住宅資材設備機器の販売（現明星住宅資材）を開始して今日に至って居ります。広く社会のニーズに応え高品質の商品を迅速にお届けするをモットーに全社あげて今後共御奉仕申上げる所存でございますので宣敷くお引立の程お願い申しあげます。

最後になりましたが、躍進めざましい御当地泉崎村に誘致いただき、又設立に御協力下さいました地域の皆さまに深く感謝申し上げます。

明星電気㈱　白河工場の皆さん

生徒募集

働きながら高卒の資格を取ろう！

福島県立白河第二高等学校

昭和六十一年度入学生を募集しています。

白河第二高等学校の概要

▼名称及び住所　福島県立白河第二高等学校（夜間定時制）
▼授業時間　午後五時三十分より九時五分まで。月曜日から土曜日の毎日四時間授業。
▼卒業年限四ヵ年
▼経費（月額）
●授業料　約一二〇〇円
●PTA会費・生徒会費　約二〇〇〇円
●給食費　約四七〇〇円
　計　約七九〇〇円
（教科書は無償配布になります。）

募集要項

▼募集定員　第一学年四十名
▼出願資格　中学校を卒業した者、あるいは卒業見込の者
▼出願期日　昭和六十一年二月十二日（水）より二月十八日（火）まで
▼学力検査
●昭和六十一年三月十六日（日）午前九時から午後三時十分まで　国語・社会・数学・理科・英語
●年令十八歳以上（昭和六十一年四月二日現在）の者について
①学力検査を免除する。
②作文・面接の結果及び調査書等から選抜する。
③午後二時二十分から作文・面接を実施する。
▼合格発表　昭和六十一年三月十九日（水）
詳しくは、白河第二高校（☎〇二四八―二三―二三一九）まで午後にお尋ね下さい。

公民館だより

＝とっても上手だったね、音楽発表会＝

村文化祭、第三回音楽発表会が十一月二十三日午後改善センターで行われました。お母さんコーラスの「瀬戸の花嫁」「銀色の道」「ソーラン節」のオープニングで進行しピアノ・エレクトーンを練習している幼稚園、小学生が日頃の腕前を披露しました。ゲストの郡山市出身、佐藤真人さんのフルート演奏はさすが国際コンクール入賞者としてしばし聴衆を魅了させました。

（楽しい音楽会でした）

お母さんコーラスと出演者が一堂で歌った「手のひらを太陽に」「もみじ」でフィナーレとなり、親と子の楽しいふれ合いの一ページを残すことができました。

文化祭「文芸のつどい」

去る十一月二十四日に行われた〝文芸のつどい〟の作品の主なるものは次の通り

(五)借物が入賞してる文化祭　国井嘉兵衛
文化の日地酒が匂う土工部屋　松山富夫
底辺でいじめうごめく文化国　円谷泰秋
過疎暮し母は文化に遠く住み　大塚良子
仁五門睨む仁王も文化財　木野内良爾
(人)文化国われに虜因の日もありて　田崎久三郎
(地)電池皆抱いておもちゃ屋春の唄　鈴木　勝吉
(天)足速の文化は追えぬ空財布　大塚いさを
(軸)孫の胸菊の勲章文化の日　佐藤　寅男

『福祉リサイクル・バザー』の売上げ金を寄付！

十一月三、四日婦人団体連絡協議会主催による福祉リサイクルバザーは、村民の皆さんの暖いご協力により盛況のうちに終了致しましたが、売上げ金の一部は十二月十二日本柳会長より福祉寄付として村長に手渡されました。洋服類は白河学園の子供たちにみかんを添えて届けられ喜ばれました。村民のみなさんの善意を心より感謝申し上げます。

書初展へ出品を!!

昭和六十一年の希望をこめて書いた「書き初め」を展示会に出品して下さい。

一月十三日に中央公民館にお届け下さい。

一月十四日から十六日まで一般に公開しますのでどうぞ観に来て下さい。

撤収・搬出は十七日。

小中学生、成人一般の参加出品を歓迎します。

「福祉手当制度が変わります」

国民年金法等の改正に伴い、昭和六十一年四月一日から、原則として成人の障害者に障害基礎年金が支給されることになります。

これにあわせて現行の福祉手当制度も改正され、二十歳以上のより重度の障害者を対象とした特別障害者手当が創設されます。

特別障害者手当

◇支給対象者

精神又は身体により重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする程度の状態にある二十歳以上の在宅重度障害者

◇対象となる障害程度

概ね次のアからウまでのいずれかに該当する場合ですが、別に政令で定められています。

ア、国民年金一級程度の障害（又は病状）を重複して有する場合

イ、国民年金一級程度の障害（又は病状）を一つ有し、かつ同年金二級程度の障害（又は病状）を重複して有する場合

ウ、国民年金一級程度の障害（又は病状）を一つ有するが、それが極めて重度であるために前記ア、イと同等程度以上と認められる場合

◇支給制限

施設入所者及び三カ月以上の長期入院患者

◇適用月

昭和六十一年四月分から

◇手当の額

月額二万円

◇支給期間

認定請求の翌月から（ただし、六十一年四月中に請求のあったものに限り四月から）支給事由の消滅した月まで。

◇認定請求の受付

ア、受付期間　昭和六十一年一月一日から

イ、受付窓口　市町村

◇詳しいことは、県（市）福祉事務所、又は町村役場福祉担当課へお問い合わせください。

スポーツ

陸上競技大会の記録

第一回泉崎村陸上競技大会が十一月二十三日に体育協会、教育委員会の主催、民報社の後援で、小中学生の健康増進と体力向上を目的に、多目的広場陸上競技場で開かれました。一小二小、中学生約三百人が参加し二十四種目に熱戦を繰り広げました。最後に㊫モータース商会による六周年チャリティー益金でとん汁を全員でごちそうになり、晩秋の一日を無事終了致しました。

（入場行進）

今大会の為に泉崎鉄工所より審判台の寄贈がありました。心より御礼申し上げます。

第一回家庭バレーボール協会長杯大会開催される

村家庭バレーボール協会が発足してからまもなく一年になろうとしております。去る十一月二十二日(金)今年最後の協会長杯を開催したところ、夜分にもかかわらず五チームの参加がありました。

寒い中で大いにハッスルして、ここちよい汗をかきました。

今年は、三回の大会を実施致しましたが、次年度には、更に多くのチームが参加して、交流の深まることを期待しております。

成績は次のとおりです。

一、優勝　高根チーム
二、準優勝　太田川チーム

＝泉崎ゴルフクラブチャリティコンペ＝

去る11月24日(日)雨中の中22名が参加して行なわれた。このチャリティーコンペは毎年行なわれるが、毎年チャリティールールとして益金を出し、村の教育機関へ寄付することになっている。このチャリティーコンペも今年で十年目となり会員の間にもすっかり定着し、皆気持よくルールを守り、出し合ってくれる。なお、本年は泉崎第二小へ寄付された。

昭和六十一年度泉崎村スキークラブの会員募集!!

いよいよ待望のスキーシーズンが到来致しました。今年度も次のように事業計画をたてましたので、スキー愛好者の入会をお待ちしております。

申込みは、年会費一人三千円を添えて村中央公民館まで申込み願います。

一、昭和六十一年度事業計画（案）
①昭和六十一年一月十九日　第一回スキー教室、猪苗代リゾートスキー場
②昭和六十一年二月二日　第二回スキー教室　羽鳥湖スキー場
③昭和六十一年二月九日　第三回スキー教室　栗子国際スキー場
④昭和六十一年三月八、九日、第四回スキー教室　蔵王スキー場
⑤昭和六十一年三月二十三日、第五回スキー教室　台鞍山スキー場
※雪の状態等により、計画の変更もあります。

＝中学生体力づくり教室開催します＝

冬休み期間中を有意義にすごそうと中学生を対象とした体力づくり教室を開催致しますので、希望の方はふるって参加して下さい。

一、期間　冬休み中
二、時間　午前十時三〇分～十二時迄
三、場所　農業者トレーニングセンター
四、服装　スポーツのできる用意をすること。
五、主催　泉崎村教育委員会（スポーツ少年団）
六、その他　申込み・くわしくは、中央公民館TEL五三―二二五八に問い合わせ下さい。

よろしく

泉崎村体育指導員
深谷正一

この度、国鉄の事情により十一月一日付で泉崎村教育委員会の社会体育指導員として二年間お世話になることになりました。私の仕事は公共施設の活用やスポーツ少年団の指導その他で、勤務場所は公民館です。一生懸命やりたいと思いますのでよろしくお願いします。

今月の行事

―住民課―

8日(水)　1時～2時　妊婦検診　東村母子センター
10日(金)　1時～1時半　三種混合予防接種Ⅰ期（2回目）　三種混合予防接種Ⅱ期　村立病院
17日(金)　1時半～　二種混合予防接種　一小、二小　風診予防接種　中学校
1時～2時　3カ月児健診　白河保健所
22日(水)　安全点検日
16日(木)　避難訓練
28日(火)　職員会議
29日(水)～31日(金)　身体測定日

―保育所―

4日(土)　御用初め
6日(月)　平常保育開始
10日(金)　新年こども会「かるたとり」　誕生会
8日(水)・22日(水)　お弁当の日
9日(木)　青年学級（百人一首）各週木曜日夜の学習
10日(金)　婦人団体連絡協議会理事会、舞踊教室
12日(日)　烏峠少年教室
13日(月)　書初展作品搬入
14日(火)　書初展16日まで
15日(水)　おしどり学級　書道会練習日
16日(木)　英語教室、英会話講座（毎週木曜日）
17日(金)　婦人団体連絡協議会政治学習〝村政を知る〟
18日(土)　子ども将棋教室
19日(日)　東・中島・泉崎三村文芸のつどい
21日(火)　婦人学級（生花）
22日(水)　老人記念誌編集委員会
24日(金)　高砂学級
25日(土)　子ども将棋教室
26日(日)　烏峠少年教室、ペンクラブ月例会
28日(火)　婦人学級（手芸）
29日(水)　おしどり学級

―泉崎幼稚園―

8日(水)　新入園児童親子面接会
16日(木)　第三学期始業式
20日(月)～22日(水)　身体測定
25日(土)　避難訓練及び消火栓講習会
28日(火)　第一回縄とび大会
31日(金)　誕生会

―泉崎一小―

10日(金)　第三学期始業式
25日(土)　避難訓練
13日(月)～14日(火)　身体測定

―泉崎二小―

10日(金)　第三学期始業式　方部子ども会

―泉崎中学校―

10日(金)　第三学期始業式

―公民館―

4日(土)　御用始

おいわい　おめでた　おくやみ

□結婚おめでとう　ございます。

新郎	新婦	住所
中畑　勲		泉崎字別所三番地
	保子	
熊田　宏一		北平山字観音山三六番地
	かつ子	
本柳　史之		泉崎字次部田一番地
	晴美	
小林　次男		泉崎字狐山十五番地
	美恵	

□出産おめでとう　ございます。

お子様名	父名
泉崎字舘百十五番地	
大野　拓	喜平
関和久字如信澤二十三番地	
佐藤　裕希	義光

■謹しんでお悔み申し上げます。

踏瀬字踏瀬四十二番地	
箭内　喜一	八十六才
踏瀬字池の入山三番地の一	
白岩　アキ	九十一才
関和久字下原四十九番地の一	
大野　正一	三十三才
関和久字下町三十七番地	
鈴木　キヱ	八十九才